

2024年度 2～3月 世界の実物体験ワークショップ プログラムの依頼・問い合わせガイド



世界のコマの回し方クイズワークショップで使用するトルコのコマ



桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクト



はじめに

桜美林草の根国際理解教育プロジェクトでは、例年2～3月に学校を中心とした教育現場からご依頼を受け、多数のワークショップを実施しています。

このガイドでは、2025年2～3月の平日に実施可能な4種類の対面型ワークショップと日程を案内します。興味・関心をお持ちのみなさまに、お問い合わせの際にガイドとしてお役立て頂ければ幸いです。

2025年2～3月に実施可能なワークショップ

	推奨学年	ワークショップの題名
1	小学1年生 以上	世界の遊びの出張博物館 体験ツアーワークショップ
2	小学3年生 以上	世界のコマの回し方クイズ ワークショップ
3	小学5年生 以上	世界の楽器の音クイズと アンクルン合奏ワークショップ
4	小学2年生	実物を体験して学ぶモンゴルと 「スーホの白い馬」
5	小学3年生 以上	世界のコマの回し方クイズ ワークショップ (オンライン)
6	小学3年生 以上	世界のボードゲーム学ぶ 世界のつながり

1～4は対面、5・6はオンラインで行います。

世界の遊びの出張博物館 体験ツアーワークショップ

<このワークショップの魅力>

世界各国の多種多様な遊び道具を体験することができます。どの遊びも日本で見られる遊びと共通点がありながらも、異なる特徴をもっています。遊びを通して楽しみながら多様性に触れ、考える機会となります。



インドネシアの大型コマを回し風や音を感じようとするこどもたち

世界の遊びの出張博物館 体験ツアーワークショップ

Tanoshimi
Workshop

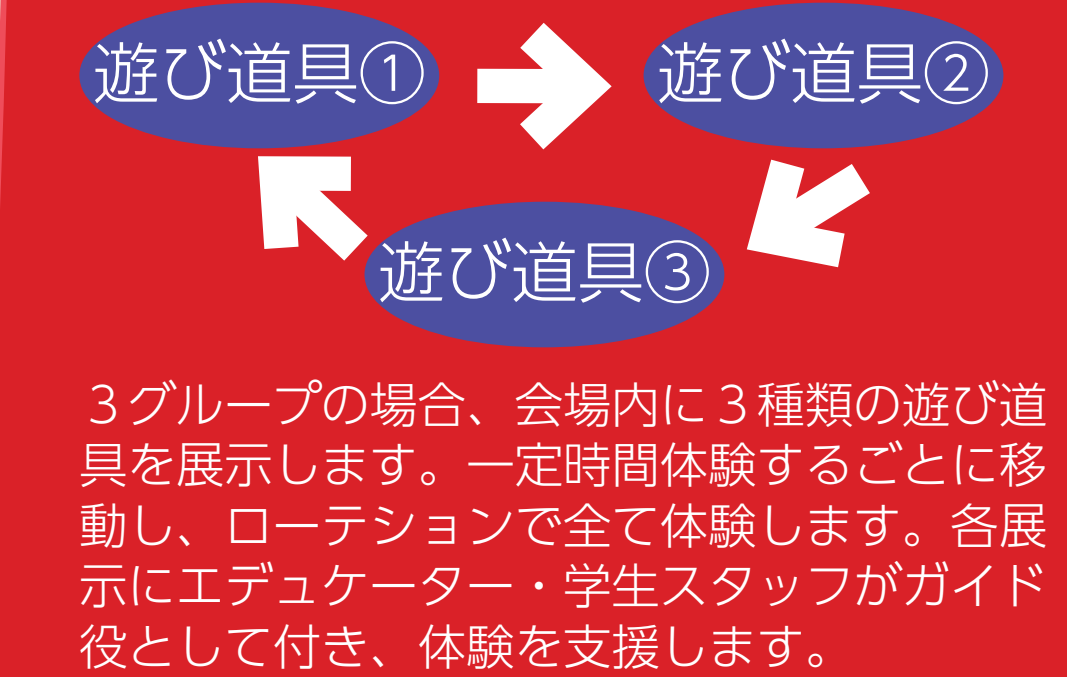
小学校1年生から
1回1クラス

このワークショップでは、会場に世界の遊び道具を持ち込み、小さな博物館と見立てます。学習者はこれらの遊び道具を体験する「ツアー」に参加します。ワークショップを通じて、世界の遊びに親しみ、小さな子どもたちにも文化が多様であることに気づく機会を提供します。

① イントロダクション

ワークショップを実施するエドゥケーターと学生、そして草の根プロジェクトの紹介を行います。活動内容を学習者に伝え、グループに別れてスタートします。グループの数は参加人数や会場の広さ、時間等によって調整します。

*体験ツアーのすすめかた



世界にはいろんな遊び道具があるんだね！
どうやって遊ぶんだろう？

② 遊び道具体験ツアー

へびとはしご



とてもシンプルなルールで誰でもすぐに楽しめます。

展示する遊び道具を、学習者が実際に遊んで楽しめます。使用する遊び道具は、ここに紹介したものを中心に、対象者の年齢や人数を考慮して決定します。世界各国に多種多様な遊びが親しまれているということを、体験を通じて理解することができるでしょう。

世界のけんだま



簡単なものから難しいものまでいろいろな形のけんだまに挑戦できます

インドネシアの竹製コマ



回す準備は少し難しいですが、回し方は簡単でとてもよく回ります

インドネシアの大型コマ



綱引きのようにヒモを引っ張って回すので小さな子どもたちでもOK

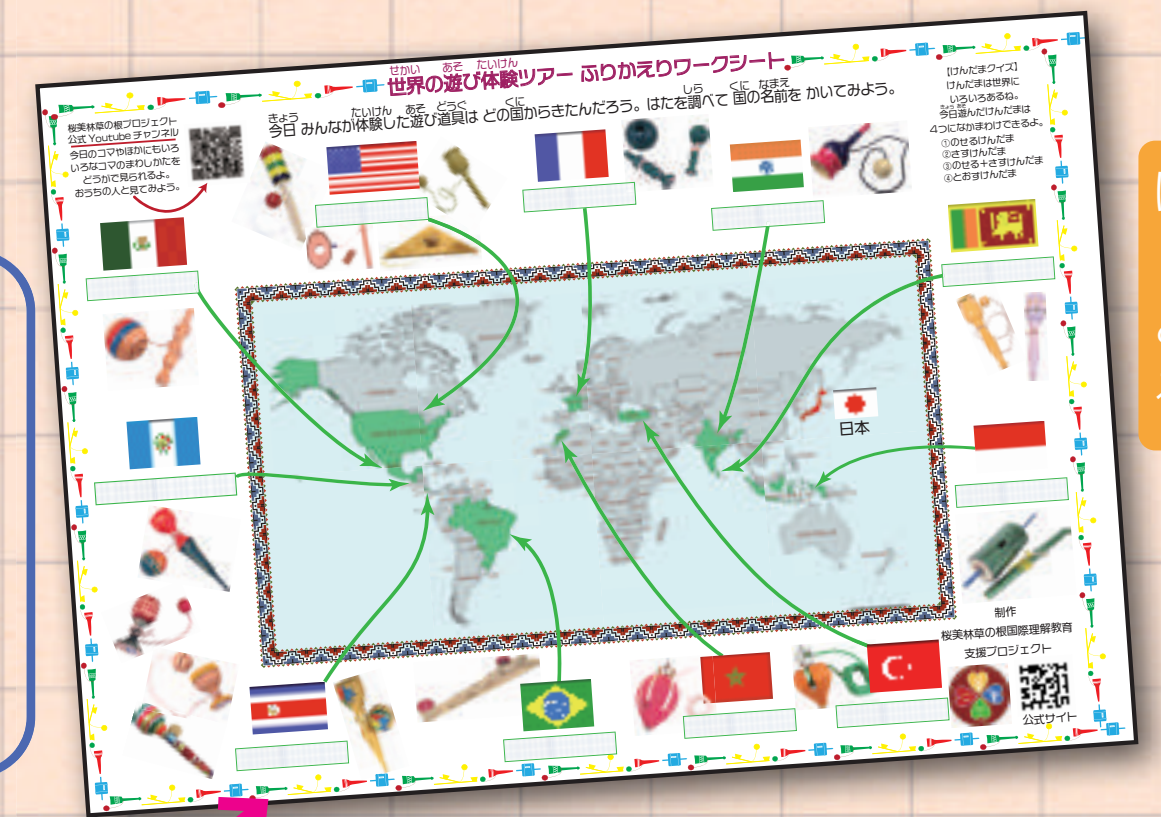
トルコのコマ



ヨーヨーを回すようにして回します

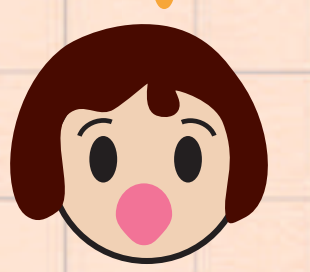
③ 振り返り

全員集合し、さまざまな遊び道具を体験して気づいたことを問いかけ、活動を振り返ります。最後に、当日体験した遊び道具全てを紹介するワークシートを配布します。



国旗や場所を参考に調べて国の名前を記入できるようにしてあります。

けん玉もコマも日本にしかないと思ってたけど、世界にいろいろあるんだね！



世界のコマの回し方クイズ ワークショップ

<このワークショップの魅力>

全員に一つずつ実物のコマを配り、「グループで回し方を考えて回してごらん」と問いかけます。子どもたちは仲間と相談し手を動かしながら試行錯誤し、最後には全員が回し方をマスターします。コマを通して異文化に親しみ多様性について学びます。



トルコのコマ「トパチ」を一斉に回す子どもたち

世界のコマの回し方クイズ ワークショップ

Tanoshii
Workshop

小学校3年生から
1回1クラス

グループで試行錯誤しながら回し方を考えるアクティビティを通して、世界各国のコマをじっくりと体験します。このプロセスを通じて、多種多様なコマが日本のみならず世界に存在することに気づき、文化の多様性に気づききっかけとすることを目指します。

① イントロダクション

ワークショップを実施するエドゥケーターと学生スタッフの自己紹介の後に、世界のコマを活用するアクティビティに取り組んでもらうことを伝えます。

② コマの回し方を仲間と考えよう



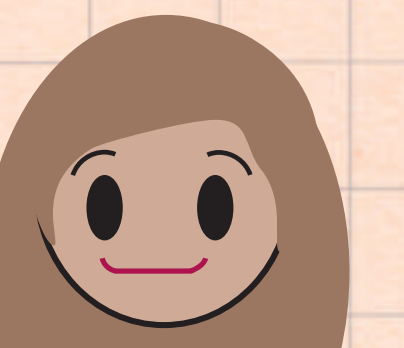
学習者を3～4名ずつの小グループに分け、各グループに題材となるコマを2～3セットずつ配ります。コマはコマ本体と回すための道具（棒やひも）がセットになっており、それらの道具を使って回す方法を協力して見つけ出します。

③ 回し方をみんなで見てみよう



コマを回すことができたグループがあれば、子どもたちにどうやって回したかたずね全体で共有します。さらに、コマの回し方を全員がはっきり見えるようモニターやスクリーンに写した動画で紹介し、実演します。

コマは知ってるけど、これは初めて見たよ。どうやって回すんだろう？



④ コマをみんなで回してみよう



各グループでコマを実際に回します。個人で回して遊ぶのではなく、グループ内で協力しながら、全員が回せるようになることを目指し、互いに支援しあうことを促します。

少し練習したら僕にも回せたよ！いろんな回し方のコマが世界あるんだね！



⑤ 振り返り



全員でコマを体験して気づいたことを共有します。また、コマを事例に多様性に触れたことを振り返ります。最後に、配布するプリントを紹介して終わります。

世界の楽器の音クイズと アンクルン合奏ワークショップ

<このワークショップの魅力>

多くの子どもたちが抱えている楽器の概念にはない多様な楽器と出会います。特にインドネシアの「アンクルン」という楽器を活用する活動では、全員が一つずつアンクルンを持って合奏に取り組みます。アンクルンは、音楽が得意でなくても演奏に参加することができます。合奏の体験で達成感を得るとともに、固定観念をゆさぶり、文化の多様性に出会う学びを提供します。



アンクルンの合奏に取り組む子どもたち

世界の楽器の音クイズと アンクルン合奏ワークショップ

Tanoshi Workshop

小学校5年生から
1回1クラス

このワークショップでは、世界各国の楽器を多数活用します。前半の「世界の楽器の音クイズ」では、それまでのイメージを覆すような多種多様な楽器と出会い、多様性への気づきを促す機会とします。後半のはインドネシアの「アンクルン」の合奏に取り組むことで協働の実践に挑戦します。

① イントロダクション

ワークショップを実施するエドゥケーターと学生、そして草の根プロジェクトの紹介を行います。遊びを通して多様性と協働について考えるというねらいを共有します。

② 世界の楽器の音クイズ



このアクティビティでは、目を閉じて聴いた音だけを頼りに楽器を探し出します。楽器を探す際には、手を触れることができません。そのため、一つ一つの楽器を注意深く細部まで観察することが求められます。こうした活動によって、世界に多種多様な楽器があることに気づくことを促します。

45分で実施する場合は写真から正解を探します。実物を使用する場合は所要時間が50分~となります。

世界にはいろんな仕組みの楽器があるんだ！触ってみるとよく分かるね！

③ インターミッション 「多様性と協働と」



音クイズでの体験をもとに、多様であることとはどういうことなのか、考えます。そして、生活文化や人間そのものも多様であることを紹介します。さらに、異なる背景を持つ人々が共に生きる上で必要であると考えられるのが「聴く」と「協働」であり、それを意識的に実践してみようという問いかけます。

みんなの力を合わせて合奏ができると気持ち良い！

⑤ 振り返り

ワークショップ全体を振り返り、学習者からは活動を通じて気づいたこと考えたことを共有します。エドゥケーターから、活動中の様子についてフィードバックします。

④ インドネシアの楽器 アンクルンに挑戦



いくつかのグループに分け、はじめに最低限の情報のみ提供します。そして、どうすれば全員で合奏することができるのか考え、合奏に挑戦するよう伝えます。学習者はグループ内で試行錯誤しながら考えを共有し合奏に取り組みます。

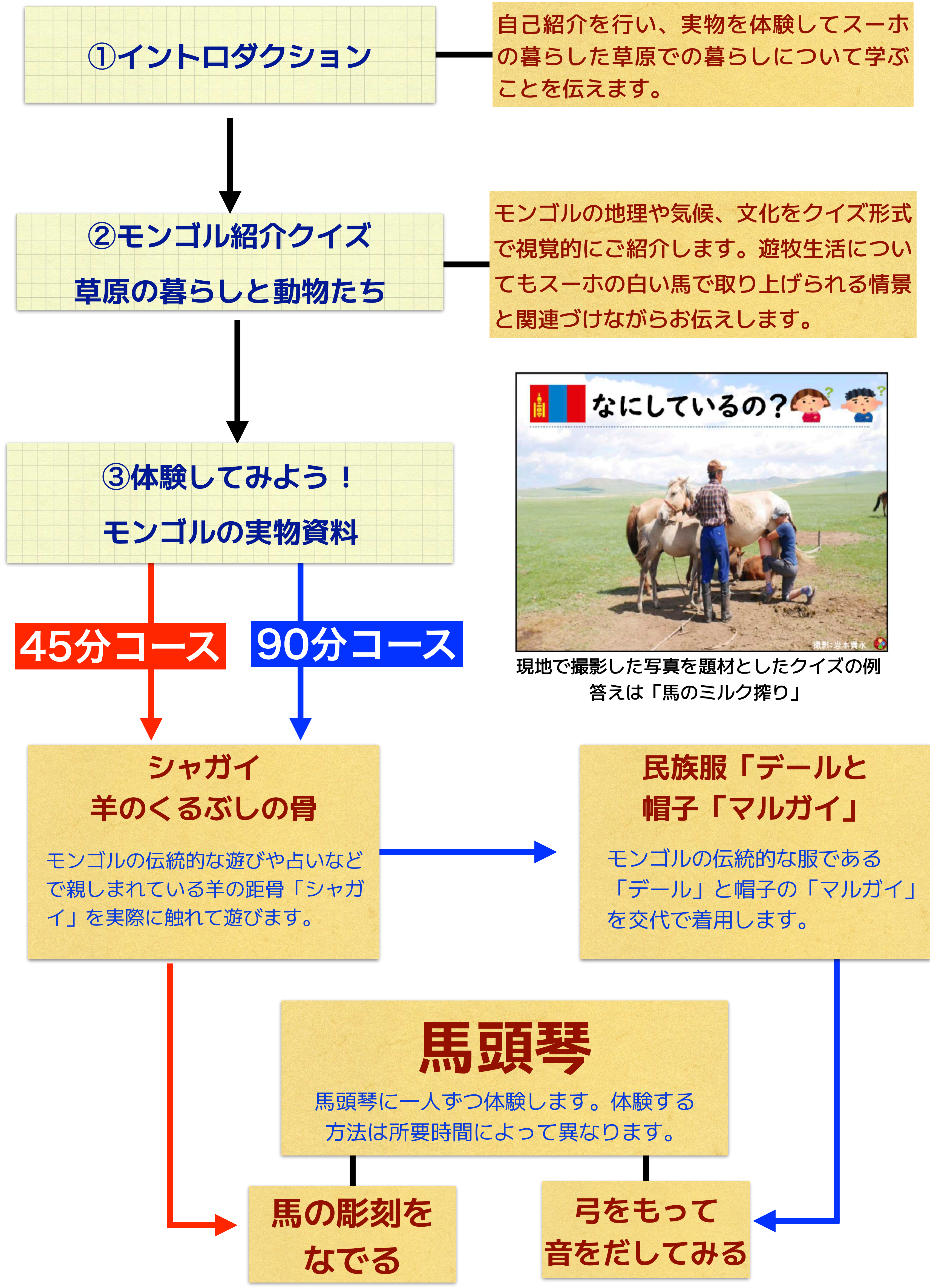
実物を体験して学ぶモンゴルと「スーホの白い馬」ワークショップ

＜このワークショップの魅力＞

スーホのように草原で暮らす人々はどのように生活しているのか、モンゴルの実物資料の体験活動をまじえながら紹介します。所要時間45分と90分の2つのコースがあります。それぞれ体験することができる実物資料やその方法が異なります。



プログラム概要



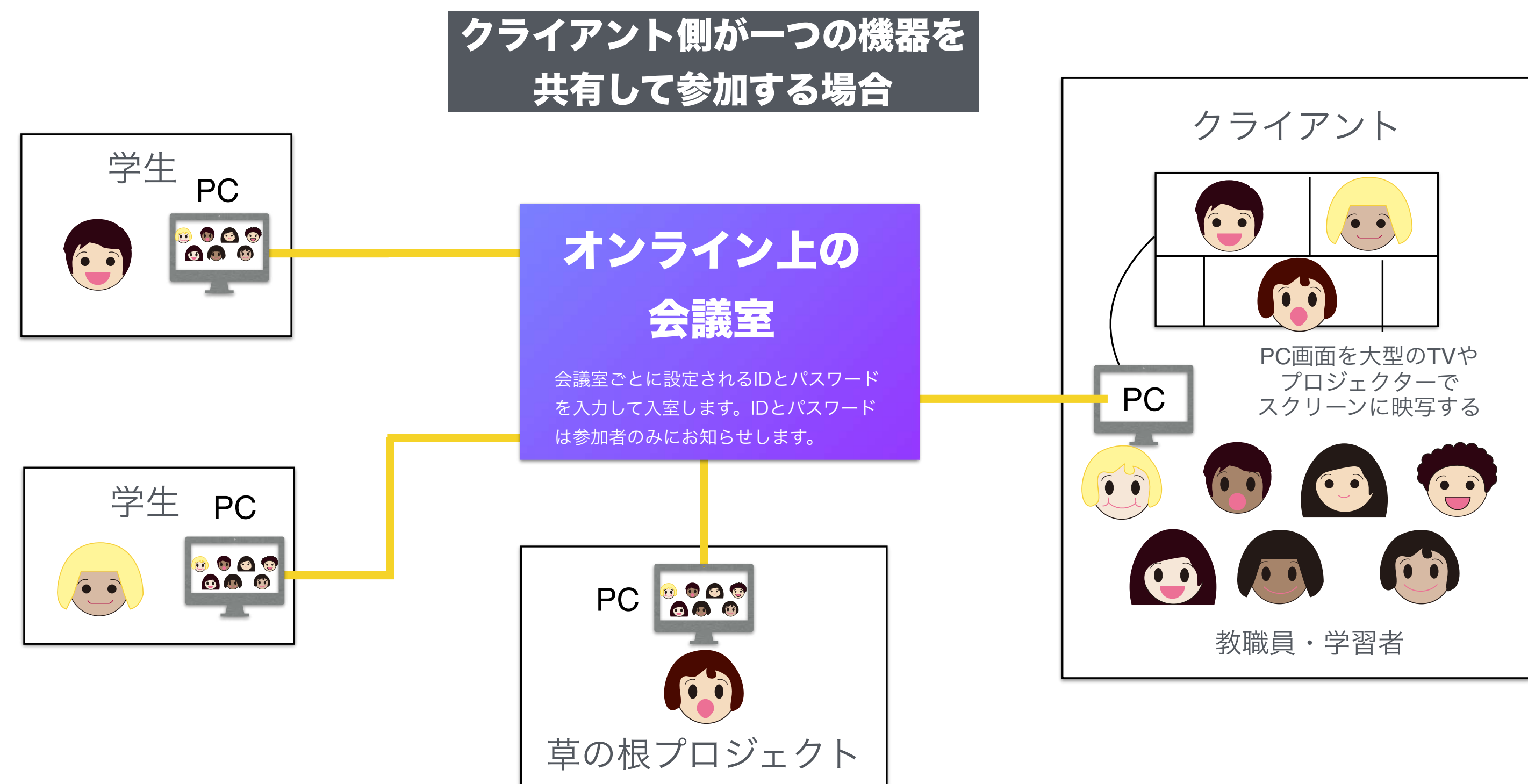
草の根オンライン ワークショッププログラム

＜このワークショップの魅力＞

インターネットを活用した遠隔会議サービス（ZOOM または Google Meets等）を利用して行うオンラインワークショップも実施しています。訪問が難しい遠方からのご依頼でも日時の調整と環境を整えば実施可能です。

必要な環境は、安定したインターネット回線、カメラ・マイク・スピーカーを備えたパソコンやタブレット端末等の機器、プロジェクターやテレビ等の大型の映像機器となります。2024年度内のオンラインワークショップでは、右の2つのプログラムに対応いたします。

草の根プロジェクトによるオンラインを活用したワークショップの概要図 学習者集合型-PC



世界のコマの回し方クイズワークショップ

概要

日本の子どもたちにとって親しみのある「コマ」。日本国内にも多種多様なコマが存在しますが、視野を世界に広げると、さらにさまざまなコマがあることが分かります。このワークショップでは、コマの回し方や形に着目し、多様性に気づききっかけとすることを目指します。

関連学習キーワード
小学校3学年国語科（光村図書）「こまを楽しむ」 / 小学校1学年生活科 昔遊び / コミュニケーション

コマの回し方クイズのスライド例

どうすればこのコマを回せるでしょうか？
枠に下から言葉をいれて説明を完成させましょう

- [A] にヒモをひっかけます
- ヒモを [B] に巻きます
- [B] を [C] に載せます
- ヒモの端を [D] で [E]
- ●のままコマを [F]

投げます 通します 落とします つまみます
つまみ 指 手のひら 金具(上) 金具(下) コマ 軸

コマにもいろんな形や回し方のものがあるって興味深いな～。

活動事例

世界各国のコマの実物を使って構造や特徴をクイズで問いかけながら詳しく紹介します。回し方クイズでは、空欄の入った回し方の説明文に、正しい言葉を入れることで完成させます。



世界のボードゲームで学ぶ世界のつながり

概要

人間は、これまで多種多様な遊びを創造してきました。中には数百年の歴史があり、今でも親しまれている遊びもあります。このワークショップでは、電気通信技術のない時代に発明されたにも関わらず、世界に広まったボードゲームを紹介し、文化の多様性や人間の交流について考えます。

ボードゲームコレクションの一部

いろいろなすごろくから「違い」や「同じ」「似ている」ところ発見できるのが面白いね！

活動事例

インド発祥のすごろく「パチシ」やアフリカ発祥と言われる「マンカラ」等を題材に、それらを元に作られたボードゲームをクイズを交えた対話形式で紹介します。ボードゲームを実際に楽しむことができるよう、ゲーム盤を模したワークシートを全員に差し上げます。

関連学習キーワード
小学校～高校 / 世界の遊び、人の移動、グローバルイノベーション

実施する時間帯

ワークショップは基本的に2～4校時の間に実施します。
45分のワークショップの場合実施する時間帯はクラス数によって異なります。

2クラスの場合

2校時	1クラス目
中休み	
3校時	2クラス目

3クラスの場合

2校時	1クラス目
中休み	
3校時	2クラス目
休み時間	
4校時	3クラス目

- ★2コマ連続90分のワークショップ（モンゴル）は3・4校時となります。
- ★4クラスの場合はワークショップの内容、時間帯等について別途相談させていただきます。

ワークショップを実施可能な日程

2025年2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 祝日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 祝日	25	26	27	28		

■ 対面ワークショップが可能 ■ オンラインワークショップが可能（午後）

*1月は受付を休止します

ワークショップを実施可能な日程

2025年3月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	祝日	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

■ 対面ワークショップが可能 ■ オンラインワークショップが可能（午後）

*1月は受付を休止します

お問い合わせから実施まで

ご依頼・お問い合わせは
専用の問い合わせフォーム
をご利用ください。

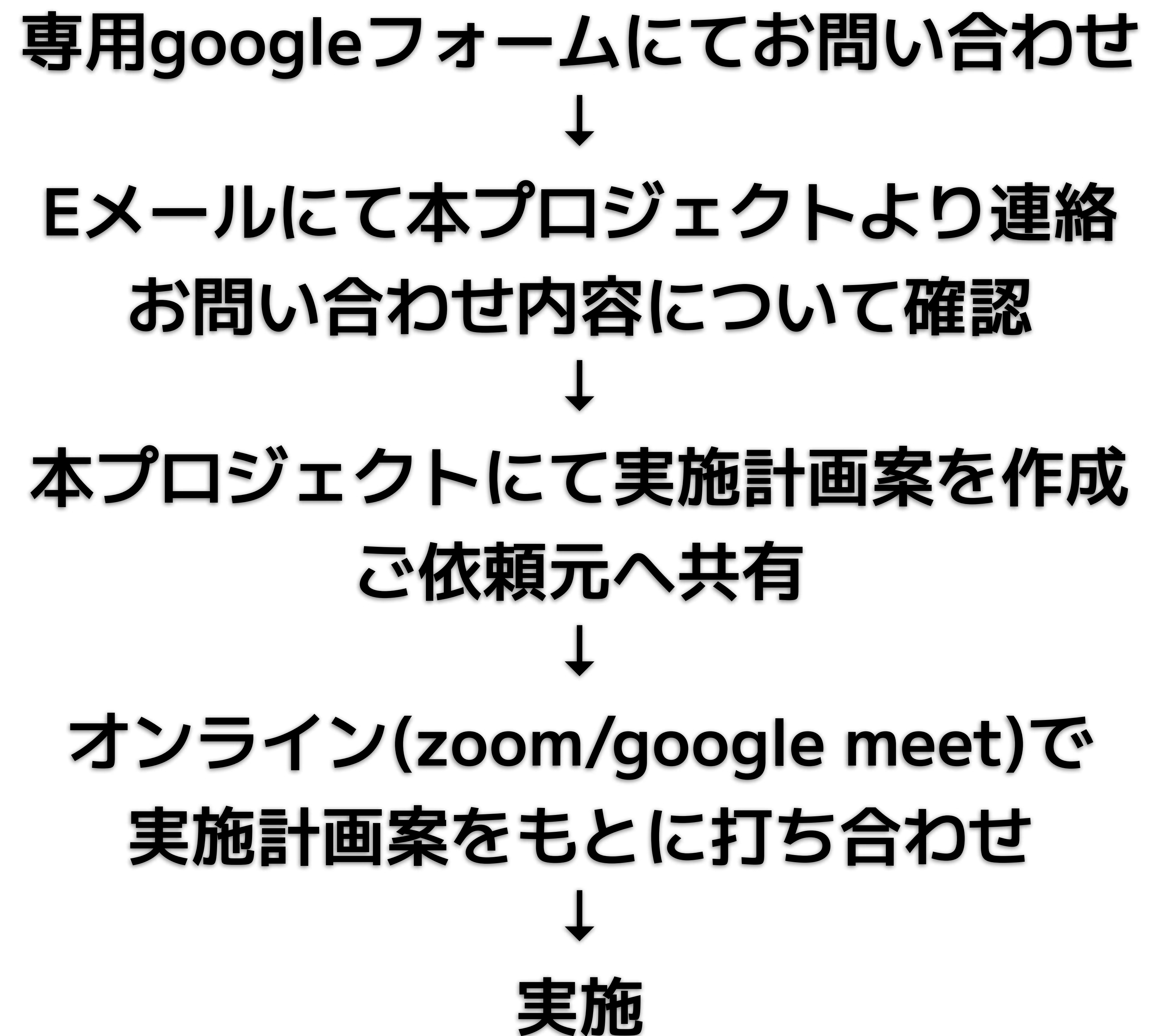


実施主体である本プロジェクトについて
詳しくは、公式サイトをご参照ください。

<http://www2.obirin.ac.jp/kusanone>



実施までの流れ



アウトリーチ教育プログラム	2025年1～3月に受付可能な日程
国際学生訪問ワークショッププログラム	受付を休止します
世界の実物体験ワークショッププログラム	受付可能な日程はカレンダーをご参照ください
異文化協働体験ワークショッププログラム	受付を休止します
草の根オンラインワークショッププログラム	受付可能な日程はカレンダーをご参照ください
世界の遊びと衣装の出張博物館プログラム	2月：1(土)/15(土)/22(土) 3月：8日(土) 3～4週間前までにお問い合わせください。
異文化発見キット貸出プログラム	随時実施可能です。お問い合わせください。